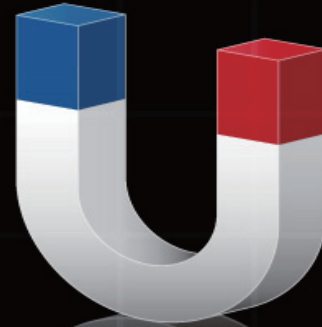


Composite Material,
In the World

ONLY

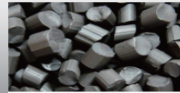
1



We are aiming at evolution from Only One manufacturer of bonded magnets to the world Only One of composite materials.

【射出・押し成型用プラスチックマグネット材料】

- ・フェライト系コンパウンド
- ・ネオジウム系等方性コンパウンド
- ・ネオジウム系異方性コンパウンド
- ・サマコバ系異方性コンパウンド
- ・希土類+フェライト系コンパウンド



【射出成型用軟磁性プラスチック材料】

- ・ソフトフェライト系コンパウンド
- ・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト

《営業部》

〒709-0514

岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL : 0869-88-1888 / FAX : 0869-88-0204

《東京営業所》

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301

TEL : 03-5810-6825 / FAX : 03-5810-6826

URL : <http://www.mate.co.jp/>

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reserved.

編集後記

BM 素心では「ボンド磁石の価値を高める研究課題」と題して当協会会長の芳賀美次氏によりご寄稿頂いた。「異方性磁石粉末、樹脂バインダー、コンパウンド、成形加工、応用製品それぞれについての研究課題について提言がなされている。

BM レポートでは、5月の技術例会で「ボンド磁石の応用と新規磁石材料の開発動向」と題してご講演を頂き成功裡に終了した内容を、講師の許可を得て再掲載させて頂いた。大変貴重なデータが詰まっているのでぜひ参考にして頂きたい。

BM コラムには前号に引き続き協会の個人会員である西尾博明氏に「永久磁石試験方法の技術変遷」その2と題して特別寄稿頂いた。貴重な歴史として、その1と合わせて参考にして頂きたい。

磁性材料の応用としてパワーエレクトロニクスに関心が集まっている。磁気記録などの情報エレクトロニクスとは必要とする材料特性が大きく異なる。したがって材料開発における要求特性を明確にし、その測定方法を確立することが必要である。当協会ではその一環として、軟磁性材料研究会で最新の情報を得るとともに、その研究会参加者有志で圧粉磁心の規格化、標準化部会を立ち上げ回送試験などを行いながら、実際に必要とされる特性評価方法を確立することを目指している。磁石についてもこれまでの静磁気的な測定のみでなく動的な測定が必要になりつつある。会員各位をはじめとする関係者の多大なる協力を期待する。

機関紙編集委員長
大森 賢次